

## 意見の概要と本市の考え方

※ご意見は内容ごとに分類しています。

意見の概要	本市の考え方
<b>I. 改修基本構想の概要「1 改修基本理念」について</b>	
<p>守口市には図書室はあっても図書館はないので、図書館の開設は大いに期待します。開設にあたって蔵書数の拡充はもちろんの事、P3の基本理念やP4のコンセプトにもあるように、いろんな世代の方が利用しやすい図書空間の創出と効率的な本の貸し出しシステム等もあわせた図書館となるよう、希望します。</p>	<p>これからのニーズに合った、これまでのイメージにとらわれない図書環境の構築や、図書管理システムによる効率的な運営を目指し快適に利用できる図書館になるよう検討してまいります。</p>
<p>大阪府内33市で、さらに全国でも人口14万人以上の市で唯一、守口市に図書館がありません。「図書館もない民度の低い自治体」との汚名に甘んじてきた私たち守口市民にとって、市立図書館が生まれるのは待ちに待った朗報で大歓迎です。しかしながら、今回改修基本構想のどこを読んでも、どんな図書館ができるのか、さっぱりイメージが持てません。まるで、センターを改修するついでに、図書フロアの看板を「市立図書館」に架け替えるだけ、とも受け取れます。</p> <p>現在の図書フロアは市民1人当たりの貸し出し冊数が府内で下から2番目という惨状、利用者が極端に少ないことで有名です。中身の大改革をせず看板だけ替えてもまともな市立図書館になるはずがありません。</p> <p>まずは初めてできる市立図書館について、専門家と市民を入れた委員会を立ち上げ、基本理念と計画を練り上げてください。守口市にも知恵や情報を持つ市民が大勢います。市民の知恵や力を吸い上げて生かしてください。検討段階から市民の参加があって初めて、市民は自分たちの図書館だと実感できるのです。市民に育てられる図書館にしなければ意味がありません。市立図書館は情報センターの付け足しの施設ではなく主役、むしろセンターの建物を全部図書館にすべきではないかと考えます。</p> <p>全国で最後という「後発の利益」を生かし、近隣や全国のよき図書館に学んで拙速を避け、「さすが最後にできた図書館だけのことはある」と評価されるレベルの高い図書館にしてください。</p>	<p>市民一人あたりの図書提供目標冊数を、少なくとも2冊となることを目標に蔵書数を拡充し、各世代のニーズに合った施設として改修を行い、利用者の拡大に努めてまいります。</p>
<p>1 改修基本理念は、改修基本構想のもっとも根本となる考えを示すものです。「受益者負担が可能なサービスの導入に加え、当該施設の収支(経営)改善も視野に」とありますが、それらをまず前提にしていることに公の施設として違和感があります。</p>	<p>付帯予定の会議室や駐車場利用は、受益者負担の観点から、一定のご負担につきましてはご理解いただきたいと考えております。</p>
<p>「現『生涯学習情報センター』を、法律上の図書館を備えた新たな生涯学習・コミュニティ活動拠点として再生・活性化させることを目指す」としていますが、生涯学習情報センターと図書館の関係が不明確です。図書館を生涯学習情報センターの下部機関と捉えているとしたらそれは誤りです。図書館は、教育基本法、社会教育法、図書館法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育機関です。守口市は、図書館法に基づき図書館設置条例を定め、法と条例に基づき運営しなければなりません。図書館はそれ自体独立した機関です。</p> <p>今般改修する施設は、生涯学習情報センターと図書館の複合施設にするのでしょうか？</p> <p>1) 図書サービスの拡充 2) 市民の活動を支援するコミュニティ機能 3) 生涯学習機能の拡充 に書かれていることは今日の公立図書館の機能に含まれるものと考えられます。</p> <p>今般の改修により、これまでの生涯学習情報センターを廃止し、同建物全体を市立図書館としてリニューアルすることを提案します。市立図書館には先行の多くの成功事例があります。それらに学んで、丁寧な図書館づくりをすれば、これまでの生涯学習情報センターの図書フロアが図書館に看板換えしたというほどの印象をはるかに超えるイメージアップがはかられ、魅力的な図書館には自然に市民が集い・学び・交流するようになるでしょう。</p> <p>市立図書館を設置することには大賛成です。真に市民生活に役立つ図書館をつくるために、市民と協働して守口市立図書館整備基本構想を策定することが必要と考えます。</p>	<p>今般の改修に関しましては、生涯学習情報センターを法律上の図書館として再整備することを核として、再生・活性化させるものです。</p>

意見の概要	本市の考え方
<p>今ある施設をどのような目的をもった施設とするのかが示されていません。市民が主体的に「集い・学び・交流する」施設はすでに旧公民館や現コミュニティセンターがそのような施設としてあり、リニューアルさせる生涯学習情報センターの存在意義ははっきりしません。新たに市立図書館を設置するようですが、図書館の位置づけが明確ではなく、生涯学習情報センターの附属図書館のようにも読めます。図書館とは、単に市が設置する教育機関というだけでなく、人が人として幸福に生きていくために手助けとなる非常に有益な機能を有する施設であると考えています。そして、そのような図書館を市が整備することは、市民福祉の向上のために欠かせないことだと考えます。今般、法に基づく図書館を市が新たに設置することは、市民として、ようやく守口市もふつうの市並みにレベルアップするのだとの思いがあり、期待感があります。改修により、生涯学習情報センターではなく建物全体を市立図書館として、抜本的に再生させることがよいと考えます。</p>	<p>今般、生涯学習情報センターの改修は、現行の図書フロアを法に基づく市立図書館を核として、整備しようとするものです。</p>
<p>市立図書館への改修・運営について、ムダな費用を生じさせないことは当然です。「市民とともにつくる図書館」をコンセプトに、基本構想・基本計画・設計に市民のさまざまなアイデアを適切に反映させるとともに、運営には市民ボランティアの活力を大いにいかし、市が直接責任をもって運営することが肝要です。図書館の管理運営を他に委託せず、市が直営することのメリットは、隣の門真市が潤沢とはいえない予算額ながら、40年間にわたり市立図書館を堅実に運営してきた実績からも知ることができます。</p>	<p>基本構想(案)で示しているとおり、「限られた財源による効果的な投資と効率的な運営」を念頭に実施してまいります。</p>
<p>図書館のイメージ この奇抜な活用する、提供するの誰なのでしょうか。誰がどのように「市民の活動を支援し」てくれるのでしょうか。具体的なことがさっぱりわかりません。</p>	<p>各々の市民が日々の生活の中で、勉強以外にも趣味や生きがいなどそれぞれに「知りたい」「学びたい」気持ちを持ち寄っていただき、市立図書館として、そうした市民の気持ちに応え得る資料や情報の収集・提供、また、その「知りたい」「学びたい」を持ち寄った同士による学習コミュニティの形成や活動を支援できるような提案を指定管理者に求めてまいります。</p>
<p>守口市が、公共施設で何を指しておられるのかが分かりません。市長さん議員さんをはじめ、市の職員さんと市民が関わり、より良い市の実現をめざし(市)を愛する定住者をふやす。箱だけつくっても、だれが何を指していくのか、が提示されなければ、自助共助を実行できる市民は育たないと思います。せっかくの改修工事です。立派やけど使いにくいものでなく、地味でも市民と職員さんで育てていける施設を。他市の知人に自慢できるものをお願いします。</p>	<p>これまでなかった市立図書館を新たに整備することで、市民の学習意欲の高揚につなげ、また市立図書館として充実した運営に向け取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>改修の必要はない。現在、1階の自動販売機のあたりを利用している中高生たちにとって、改修工事の間、大切な居場所がなくなる。</p>	
<p>ムーブの図書フロアは図書館でない現状のまま構わない。守口市の周りには、門真市の図書館や大阪市の旭図書館など利用できる図書館がいろいろある。京阪沿線には枚方市や寝屋川市の図書館のほか府立中之島図書館があり、天満橋のシティモールには図書館のような大型書店もある。</p>	
<p>現状の図書フロアを市直営の図書館にして、コミュニティ的な場所にできたらよいと思う。</p>	<p>生涯学習情報センターの改修において現行の図書フロアを、法に基づく市立図書館として整備することを核として様々な検討してまいります。</p>
<p>改修にはお金をかけずに、市職員がリーダーとなって、ボランティア市民が集まって、DIYで手作り感のある図書館にしたい。図書館に集まることで、友だちの輪ができる。ボランティア市民へのお礼は地域通貨にすれば、地域振興にも役立てる。</p>	<p>限られた財源による効果的な投資と効率的な運営を目指すこととしており、ボランティアの活用は、整備後の図書館としてのソフト事業や活動にあたってはお力を借りたいと考えております。</p>

意見の概要	本市の考え方
<p>守口市の図書館がめざすもの、その理念やあり方をまず明確にすべきであると思います。それを達成するために図書館の機能を考えるという道筋を示していただきたいと思います。</p>	<p>生涯学習情報センターを法律上の図書館として整備することを核にするものです。改修にあたっての課題をふまえた生涯学習情報センターのあり方に関しましては、改修基本構想(案)の12ページに記載しております。</p>
<p>≪ 該当箇所[3頁-1)図書サービスの拡充]の2行目 ≫  <b>●「資料の質の確保」について</b>  市立図書館の開設にあたっては、「蔵書数の拡充を図ることとし、質の確保にも努め、利用価値の高い図書館を目指す」と書かれています。この中で「質の確保」とありますが、一般的には、蔵書を増やすが蔵書の中身も配慮するという意味合いだと考えます。ここで注意していただきたいのが、蔵書計画で蔵書を増やすがために「除籍の抑制」(本来除籍すべき資料を除籍しないで蔵書扱いにする)が行われるという事例が多数生じている点です。つまり、蔵書計画の目標値を早期に実現するために、除籍を少なくしようとする措置なのです。結果、古くなった本や劣化した本が多数書架上に並べられているという光景が見られます。守口市においては、このようなことがないように願うものです。常に新鮮で魅力ある状態に維持し、利用を高めることが、「質の確保」であり、利用価値の高い図書館へと繋がるものと考えます。守口の図書館が、各層に応じた「新鮮な資料」が豊富にある図書館になることを強く望みます。</p>	<p>図書の除籍を適切に行うとともに、新刊図書の購入も進めてまいります。</p>
<p>「蔵書数の拡充を図ることとし、質の確保にも努め」の部分は結構なことですが、ムーブ21の現状の図書貸出数は府下最低水準です。住民1人あたりの貸出冊数をいかに上げるかの工夫は考えておられるのでしょうか</p>	<p>図書館の知名度や利用率の向上に向けた提案を指定管理者に求めてまいります。</p>
<p>コミュニティ活動の充実とありますが、既存のコミュニティ施設との連携はどう考えているのでしょうか？</p>	<p>生涯学習機能の拡充を図りつつ、当該施設において市民のコミュニティ活動の充実方策については、指定管理者の提案も含め検討してまいります。</p>
<p><b>I. 改修基本構想の概要「2 基本理念実現に向けた改修コンセプト」について</b></p>	
<p>音楽やダンス、演劇などの活動できるスペースなど…の確保を作っていただくことは大変良いことと思います。そこには、是非とも常時「アップライトピアノ」を置いていただきたい。音楽…とくに合唱にはキーボードではなくピアノが必要です。さつきホールもなくなり、青少年センターもなくなり、教育文化会館もなくなり、音楽の練習や発表の場が少なく不自由を感じています。南部エリアコミュニティセンターや中部エリア…の防音室には、キーボードを置いていただいておりますが、少し多い人数ですと、やはりピアノが必要です。「生涯学習」ということで改築されるならば、是非とも「アップライトピアノ」を設置願います。</p>	<p>イベントホールにグランドピアノを設置していますので、音楽活動の練習等へのご活用も検討してまいります。</p>
<p>p4の2の3 子育て世代への配慮として、複数の子どもを同伴する親に対しては、子どもを預かることによって、利用の促進を図る必要はないか。(その為には、人的な配置が必要になる可能性もあり、限られた財源を考えるならば受益者負担も考慮する必要もあるかもしれないが。)</p>	<p>子育て世代対象の講座に参加していただきやすいよう、一時保育等を実施しております。</p>
<p>市として子育て支援を重点施策としている中で、当施設だけでは市内全域のサービスに結びつかないのでは。来館者だけでなく市内の他の施設等も活用したネットワークの拠点としての機能をビジョンとしてあげるべきと考えます。</p>	<p>守口文化センター、地区コミュニティセンター図書室と連携し、ムーブ21への来館が難しい方に対しても図書サービスを提供してまいります。</p>
<p>6の新たな利用者の確保は大切な視点であるが、従来からの利用者にとって、より利便性の高い場所の確保についても配慮する必要があるのではないかと。特に、高齢者のサークル活動のための場所の確保等。</p>	<p>高齢者にとってもより利用しやすい施設となるようリニューアルしてまいります。</p>



意見の概要	本市の考え方
<p>基本的にわかりやすく平易な表現で作成していただいておりますが、それだけに当り障りのない内容とはいうものの、中身の充実さに欠けるのではないかと、の思いがあります。 「若者のニーズ」とありますが、どのような若者の意見を問いただいたのでしょうか。また、調査を行われたのであればデータを開示いただきたいです。</p>	<p>図書フロア運営の参考に資するため、図書フロア利用者に対してアンケート調査を実施しておりますが、全回答者における20代の割合が最も少なく、新たな利用者の確保に向けては、若者の利用拡大が必要と考えております。 なお、アンケート結果についてはムーブ21のホームページに掲載しております。</p>
<p>ニーズの把握について 「音楽やダンス、演劇」だけが若者のニーズなのでしょうか。その根拠が不明です。改修コンセプトにこの項目を入れることには無理があります。</p>	<p>音楽やダンス・演劇などの活動は、現在のムーブ21で行われている代表的なものを挙げており限定するものではありません。</p>
<p>図書館機能以外は、有料と理解していいのですか？</p>	<p>受益者負担が望ましい利用・サービスにつきましては、基本的にはそのように考えております。</p>
<p>図書館法によれば公共性・公平性を担保し、利用にあたっては無料が原則です。受益者負担という名目で利用にあたって市民に過度な負担を強いることのないようにお願いしたい。</p>	<p>図書館につきましては、図書の貸出・閲覧等の基本的サービスについて、図書館法において無料ということが規定されております。</p>
<p>生涯学習情報センターが、法律上の図書館を備え、コミュニティ機能を持ち、生涯学習機能の拡充を目指すことは非常に喜ばしいことです。しかし、課題もありますので、指摘します。 生涯学習の連続性 図書館は無料利用できるのに、その他の生涯学習活動が受益者負担となると、個人の生涯学習活動が分断されてしまいます。受益者負担というしくみは、負担できない人を切り捨ててしまうことです。</p>	<p>受益者負担の導入が望ましい利用・サービスにつきましては、一定のご負担をご理解いただきたいと考えております。</p>
<p><b>II 改修にあたっての課題整理「1 守口市の概要」について</b></p>	
<p>守口市に市立図書館が存在しなかったことの歴史的経緯が記されていますが、疑問に思います。生涯学習情報センターが設置される以前、私は近隣の大阪市立旭図書館において、「守口市さんには図書館がないので、行政協定により守口市の市民にも貸出サービスをおこなっています」と同図書館の職員に聞きました。そして平成14年10月からは、北河内7市で図書館の広域利用が始まったことにより、守口市の市民は、近くの門真市等他市の図書館を便利に利用できていたという歴史的経緯がありました。また、蔵書数が公立図書館として最大級ともいわれる東大阪市にある大阪府立中央図書館は、主に守口市南部地域の住民にとっては自転車で行ける図書館の1つです。 さらに、公立図書館ではありませんが、守口市藤田町にある大阪国際大学図書館も守口市民に貸出サービス等をおこなっており、主に東部地域の住民がよく利用しているようです。 このように、守口市は長年にわたり自前の図書館をもたなくても、いわば他の恩恵により、図書館利用の欲求の充足がはかられてきたといえます。 公民館図書室の果たした役割も一定あったと考えますが、平成28年度からの公民館の廃止、衣替えしたコミュニティセンターの集約により新たに配置されたコミュニティセンターの拠点施設とされる中部や南部のエリアコミュニティセンターでは、図書を置いてはあるもののそれらの貸出サービスはなく、拠点施設として図書サービスの拡充がはかられるどころか旧公民館・旧コミュニティセンターの図書室の規模やサービスを大きく下回る実態となっています。 守口市の図書館機能をめぐる背景について、以上のことがらについて記載しておくべきであると考えます。</p>	<p>歴史的経緯の記述にあたっては、市内の特定の地域についてではなく、全体としての状況について述べています。 また、公民館の図書室に関する記述につきましては、市立図書館が存在しなかった経緯を述べています。 なお、公民館のコミュニティセンター化に伴い、本市の図書館機能をめぐる背景に関しましては、若干の変化はあるものの、市立図書館の設置に大きく影響するものではないことから、特に記述する必要はないと考えております。</p>
<p>旧公民館の図書室の行方について ここで指摘されているように、守口市の旧公民館には図書室があります。法律上の図書館ができることによって、これらの図書室の処遇はどうなるのでしょうか。図書館機能が大日のムーブ21に集約されてしまうかもしれないことを危惧しています。 できれば、子どもたちや子育て世代の方々のために、現CCの図書室は、「子ども図書室」といった形でリニューアルすることを提案します。</p>	<p>旧公民館の図書室、現在のコミュニティセンターの図書室に関しましては、コミュニティ推進課の所管となっております。なお、今後も、守口文化センター、地区コミュニティセンター図書室と連携し、図書サービスを提供してまいります。</p>

意見の概要	本市の考え方
<b>Ⅱ 改修にあたっての課題整理「3 生涯学習情報センターの現状と課題」について</b>	
<p>施設利用率について 施設利用率の減少は、老朽化だけが要因なのでしょうか。「等」ということは、他にどのような要因が考えられるのでしょうか。この辺りの分析がなざりです。リニューアルさえすれば、利用率が上昇すると考えるのは早計です。</p>	<p>市民ニーズの変化や、市民に対する施設に関してのPRが不十分であったことも要因と考えております。</p>
<p>情報コーナー 場所がムダに使われている。ちらしは平置きでなくても良い。</p>	<p>各コーナーのレイアウトについては、設計事業者からの提案をふまえ検討してまいります。</p>
<p>1階ホール 毎週末しか使われていないホールも不必要。4階にも多目的ホールがある。1箇所あれば充分。平日のホールは、いつも閑散としている。人が集まり難い雰囲気がある。友人と小声で話しても注意される場所である。週に数時間使用の為のスペースが本当に必要か。</p>	<p>1階エントランスホールについては、土曜ステージ等で市民の皆様が親しまれていることから、改修後もその機能は何らかの形で存続させる方向で検討しております。 また、平日にも賑わいが感じられる場となるよう、利活用の方法については検討してまいります。</p>
<p>エントランスホールは市民(内・外)が気軽に催しが楽しめる場所です。存続を希望します。 ムーブにとってもいろんなイベントが企画できる大切なスペースと考えます。 毎週の「土曜ステージ」や「ミニコンサート」を楽しみにしている一人です。今回図書館を利用される方もエントランスのイベントも併せて楽しめるのでは。</p>	
<p>週末に1階のホールで行われているコンサートをいつも楽しみにしています。吹き抜けの音響効果のよいホールなので、リニューアルしてもこの空間は残してほしいと思います。</p>	
<p>エントランスホール(1F)をより使い易くして欲しいです。音響/照明/客席の充実など 例)市内外共知名度のある「土曜ステージ」や「ワンコインコンサート」他は、いろんなジャンルが楽しめる市民の憩いの場として市内唯一のスペース。</p>	
<p>1階AV資料室の在り方についても、昨今のゲーム中心ではなく、あるべき方向をしめすべきではないのか。</p>	<p>1階のAV視聴コーナーについては、機器が老朽化し、現在のニーズに合わないことからリニューアル後は廃止する予定ですが、CD等のAV資料については、引き続き貸出を行う予定としております。 また、障がいのある方に対するサービスの提供にも努めてまいります。</p>
<p>AVコーナー 図書館には必要であるが、古い資料ばかりであると今のように利用者も少ない。新しいAV資料を入れ、カウンターの後方にまとめて置く場所も取らない。利用者が検索をして、AV資料の有無を確かめカウンターで貸してもらえば良い。</p>	
<p>視聴覚コーナーの利用度についてですが、ムーブ21に設置してあるソフトは VHS テープ等かなり旧式で、ラインアップも10数年変化がありません。どの図書館でも DVD が主流となっており、このような時代遅れの設備を放置し続けておりながら、「視聴覚コーナーの利用度の低さがうかがえる」という表現を見ますと、あたかも市民側の関心の無さが原因であるかのようにすり替えられているのでは、と疑念が生じます。市民が積極的に利用しようという工夫が不十分であったのではないのでしょうか？</p>	
<p>母が目が見えなくなり、CDを借りたいのですが、朗読や、落語のCDを借りても、数が少なく、楽しみが無くなってしまいました。比べるのは失礼ですが、母が以前住んでいた鶴見区図書館は、次から次から出てきてくださいました。方法を考えて頂けませんでしょうか。</p>	

意見の概要	本市の考え方
<p>閲覧室は3階と2階に分かれているが書架は2階にしかない。書架を3階にも作れば3階の閲覧室も使いやすくなる。その際には司書のいるカウンターを書架のある各階に設け、盗難防止装置の設置も必要である。</p>	<p>司書の配置を含め、盗難防止に向けた措置を講じてまいります。</p>
<p>一般書架の不正持出防止策としては、昨今の公共施設で利用されているセキュリティ設備もあるので、必要経費との兼ね合いも考慮しながら、考えるべきと思慮する。(p12とも関連性がある)</p>	<p>不正持出防止策として、ICゲートの導入も費用対効果の観点を含め検討してまいります。</p>
<p>ムーブを図書館にするというのなら、児童書は1階ではなく、3階か4階にして、1階はこれまでどおり気兼ねなく入りやすい形にしておいてほしい。読み聞かせの部屋は一般書、児童書とは別の階に設けてほしい。閲覧席はカウンター式がよい。</p>	<p>現施設の設備や構造、また想定される動線をふまえ検討してまいります。</p>
<p>守口市には、多くの読み聞かせ団体があるので、生涯学習センターの中にそれらの団体の活動場所を作り、子供たちが集う場所を作っていただきたいです。 現在、土曜日に読み聞かせ等をされておりませんが、二階の書架前なので、その時間は本を探す人が気を使われております。子供たちも落ち着いておりません。カーペットコーナーは、場所が無駄に広いです。広過ぎます。平日、そこで寝転んでいる人もいます。畳コーナーでも寝転んでいる人を見ます。一人でもその様な方がいると、他の人は使えません。他市と同じ様に、子供たちが落ち着いてお話を聴ける部屋を作っていただきたい。その部屋で、読み聞かせボランティア同士のコミュニケーションも図れたら良いと思います。</p>	<p>子どもたちが集う場所、読み聞かせを行う場所につきましては、読み聞かせ、読書を推進できる環境となるよう努めてまいります。</p>
<p>カーペットコーナーが広すぎる。仕切りもない。門真市の様に幼い子供の本のみの書架を作り、囲いを設け、幼児の為のスペースを作してほしい。児童に関しては、児童専用の閲覧スペースを作れば良い。毎週行われている読み聞かせであるが、参加人数も少ないので、広いスペースは無用である。</p>	<p>児童コーナーにつきましては、設計事業者からの提案をふまえ、読み聞かせなどの活動も含め、利用しやすいスペースとなるよう検討してまいります。</p>
<p>読み聞かせステップアップ講座やお母さんの為の絵本講座、小学校図書ボランティアの為の講座等イベントも別の場所ではなく、そこで開催されてはどうでしょうか。他市は、その様にされております。</p>	<p>読み聞かせ等の講座につきましては、同じ場所での開催を検討してまいります。</p>
<p>畳コーナー 不要。くつろぎながら読書できる場所が必要か？閲覧スペースの充実で充分である。スペースが広い割には、僅かな人数しか使えない。1人の人が寝転んでいる横で、誰が読書できるのか。</p>	<p>設計事業者からの提案をふまえ、閲覧スペースを充実させ、快適な読書環境が提供できるような空間づくりを検討してまいります。</p>
<p>「学習室」は利用しやすい学習室として、できるだけ多くの市民が利用できるスペースを確保してください。</p>	
<p>自習室 広い自習室を作り充実させると、学習場所を探している子供たちが集まる。現在の自習スペースはあまりにも狭い。</p>	<p>施設の利用率向上を目指し、スペースの確保を検討してまいります。</p>
<p>3階会議室は、国際会議対応可能施設と聞いていましたが、本来目的使用がどの程度あったかよりも、かつては、1階ギャラリーを含め「市美術展」会場として住民の来訪も多かったと理解しているが、住民全体が来館できる催し会場的行事会場でもなくなったのは、市の施策転換によるものではないでしょうか。市民会館閉館後、気軽にかつ、廉価で利用できる文化活動施設が減少している中、住民利用を中心に考える貸し会議室的機能を有する施設となるよう要望します。</p>	<p>会議室につきましては、グループ学習等にも利用しやすいものとなるよう検討してまいります。</p>

意見の概要	本市の考え方
<p>P8の3階会議室は、高性能な施設ではあるが、市民が利用するには会議室としても使いにくいし利用料も高すぎて実用性がない。市役所1階大会議室のように、パーティションの仕切りがあり、人数に応じて部屋を大きく使用できるような部屋の方が実用的であり、利用しやすいスペースになると思います。</p>	<p>3階会議室につきましては、グループ学習等の利用しやすいものとなるような検討を行ってまいります。</p>
<p>中央、南部、そして今年の夏から使用可能の東部コミュニティセンターの部屋は美しく使用料も安価である。故に、使用料が高額な会議室は利用者が少ない。地の利を考えても各コミュニティセンターの方が使い易い。故に、3階の会議室は不必要である。</p>	
<p>p8の2 施設の現況と評価の中で、5階のプラネタリウムや3階の会議室の利用が現在の状況に合っていないと読み取れるにもかかわらず、これらの改善案が示されていないのは如何なものか。</p>	<p>プラネタリウムにつきましては、撤去には多額の費用がかかるため、円形ホールとしての活用を視野に入れ、検討してまいります。また、会議室につきましても、グループ学習等にも利用しやすいものとなるよう検討してまいります。</p>
<p>子育て世代や市民交流や若者をターゲットにした改修コンセプトは、守口市民にとって魅力のある施設となり、多くの市民の利用が期待されます。ただ懸念されるのは、現状の限られた施設面積の中で、これら全てのスペースが確保できるのかということです。特に問題になるのがプラネタリウムだと思います。プラネタリウムは、長年に亘って一般放映は休止されています。今回の改修で、プラネタリウムをどのように位置づけられようとしているのか、市の考えをお聞かせください。</p>	<p>プラネタリウムにつきましては、撤去には多額の費用がかかるため、円形ホールとしての活用も視野に入れ、検討してまいります。</p>
<p>プラネタリウム 北河内地区では唯一の施設であると承知しています。しかし、隣接の大日公園に設置されている「天の川電飾」や、「星座座標」は今どうなっているのでしょうか。「天文クラブ」の機運もオープン時にはあったと聞いていたのですが、組織されたとは聞いていませんがどうでしょうか。あるに越した施設であることは、十分に理解出来ますが、文化系施設への財政投資は近年市政運営者の判断から推測すると、委託料であっても相当額の経費および維持管理経費が必要であることは容易であり、多目的利用ホールとして、現行のように長期空室状況の解消が可能な改修計画を期待したいものです。守口市の位置からは、プラネタリウムは、大阪市立科学館への行程が鉄道でつながっていることから、英断による廃止であっても、代替的には住民利用の決定的な損失ではないと考えます。</p>	<p>プラネタリウムにつきましては、撤去には多額の費用がかかるため、円形ホールとしての活用も視野に入れ、検討してまいります。大日公園の「天の川電飾」及び「星座座標」につきましては、現在は消灯状態となっております。また、「天文クラブ」については組織されておりません。</p>
<p>プラネタリウム 現在休眠中のスペースを活かせるようなイベントを真剣に企画されてはどうか。</p>	<p>プラネタリウムにつきましては、撤去には多額の費用がかかるため、円形ホールとしての活用も視野に入れ、検討してまいります。</p>
<p>プラネタリウムは高い費用をかけて造られたにもかかわらず結局ムダだった。議会の本会議をムーブのプラネタリウムで開催したらよい。</p>	<p>プラネタリウムにつきましては、撤去には多額の費用がかかるため、円形ホールとしての活用も視野に入れ、検討してまいります。</p>
<p>P8の多目的ホールは、舞台設備も備えていて各種講演会や地域のイベントに活用されているとの事。P7の利用状況の中に多目的ホールが入っていないので利用状況は分かりませんが、エナジーホールでは大きすぎて利用しにくい中、多目的ホールは中学生のスピーチコンテストの会場にも利用していて、この規模の舞台設備のあるホールは必要。ホールの並びに控室があれば、さらに利用しやすいと思います。</p>	<p>p8の「多目的ホール」の明記を「イベントホール」に訂正させていただきます。</p>
<p>守口には音楽のホールはエナジーホールしかありません。希望としては1000名ほど入るホールと、それに附帯する部屋等があれば最高です。それが無理なら合唱人口を増やす為にも練習場所を設けて頂きたい。しかし使用料金は安価をお願いします。</p>	<p>会議室につきましては、グループ学習等にも利用しやすいものとなるよう検討してまいります。現行の生涯学習情報センターには、100名以上収容可能な部屋としては、イベントホール(最大400人)、プラネタリウムドーム(167人)があり、ご活用いただくことは可能と考えております。なお、利用料金につきましては、リニューアルに伴い検討してまいります。</p>



意見の概要	本市の考え方
<p>コーラスの練習ができるよう、ピアノの部屋がほしい。コミュニティセンターのピアノも、センターが無くなるのと一緒に壊される悲しい事があり、又、学校も生徒の増加で借りる事ができなくなるという事もあります。「歓響都市」というのは何を指しているのでしょうか。スポーツも大切ですが、生涯を通して文化方面への力添えも必要ではないでしょうか。</p>	<p>イベントホールを音楽活動の練習等にもご活用いただけるよう検討してまいります。</p>
<p>かつて教文(5F)と中央公民館(3・4F)では多くの合唱団が練習の場として利用させていただいていたが、近年、公民館、青少年センター、小学校などが、相次いで閉鎖・統合され、練習場所の確保に大変苦慮している。毎年「守口市民合唱祭」として、合唱団の交流と合唱文化を広げよう!の思いで、楽しみつつ、頑張っているのだが、「コミセン」と名乗る施設のどこを見ても、ピアノも無いのかと、「文化不毛の守口!」は今までも、これからも変わらないのか!と嘆かわしい思いです。「守口文化センター」に音楽室はありますが、利用料が高く3000円前後の会費で団を運営していこうと思うと無理なことです。「土曜ステージ」も催されている新しい「生涯学習センター」に、最低限の伴奏楽器を備えた、練習場所を作って頂くことを、切望いたします。</p>	<p>イベントホールを音楽活動の練習等にもご活用いただけるよう検討してまいります。</p>
<p><b>II 改修にあたっての課題整理「4 図書サービスの現状と課題」について</b></p>	
<p>利用者アンケートによる現状の分析は、アンケート実施期間が5日間ときわめて短く、採取数もわずか100人とあまりに少なく、図書サービスの現状と課題を洗い出すにはまったく不十分です。指定管理者モニタリング制度に基づく、第三者的総合評価の平成26・27年度対象分の改善すべき課題等の欄には「アンケートは充分な標本数を確保すべきである。」等指摘されています。その後、アンケート調査が改善されたか否かは、平成28・29年度分の公表がまだになされていないので確認できません。このアンケート調査については、施設所管課の生涯学習課も、集中的に行うのではなく、年間を通して実施する必要があることなど「守口市指定管理者制度におけるモニタリング指針」に基づく利用者アンケート調査の実施方法が遵守されていないことを指摘しています。指定管理者による図書館の管理運営が不適切な結果をもたらしていることの一例でしょう。改めて、適切な利用者アンケート調査結果に基づく図書サービスの現状の分析を示す必要があります。</p>	<p>リニューアル後、随時利用者アンケート等を実施し、その結果を適切に反映できるよう努めてまいります。</p>
<p>コーヒーを飲みながら本を読める場所の設置については、飲食を認めるとなると、その限度が不明瞭となることもあり、慎重な姿勢が望ましいと思慮する。</p>	<p>飲食可能なスペースについては、範囲を限定し、一般の閲覧室とは区分する方向で検討してまいります。</p>
<p>「施設の清潔度」ですが、ムーブ21の図書フロアの椅子やベンチは汚れが目立ち、何をもち「満足度が極めて高い」と断定できるのか、根拠となるデータを開示いただきたいです。</p>	<p>満足度につきましては、平成29年に実施したアンケート結果によるものです。なお、アンケート結果についてはムーブ21のホームページに掲載しております。</p>
<p>利用者アンケートでは現状の利用者の意向のみの把握にとどまります。むしろ利用していない市民の利用を掘り起こすためには、その意見を聞く機会を作るべきではないでしょうか。例えば郵送や他の施設でのアンケート調査の実施などが必要であると思います。</p>	<p>利用されていない市民の意見・要望等につきましては、その集約方法も含め、今後、指定管理者と検討してまいります。</p>



意見の概要	本市の考え方
<p>≪ 該当箇所〔11頁の表-北河内7市の市立図書館との比較 ≫</p> <p>●「図書館数」について 他市の図書館数を見ると、6市とも2館以上の図書館を設置しています。これは、図書館を市全域に亘ってサービスを展開するためです。市内に図書館サービスを展開するには1館だけでは無理と言えます。本構想案では、「リニューアルを行ったのち、単独で公立図書館として運営を想定(表中下の注記※1)」とあります。守口市民に身近に図書館サービスを楽しんでもらうには、ムーブ21以外の図書施設も図書館の枠組み(分館や分室)に入れていただくよう提言します。</p>	<p>市域全体に図書サービスを展開できるよう、引き続き守口文化センター、地区コミュニティセンター図書室と連携を図ります。なお、図書館の分館・分室としての位置付けについては、今のところ考えておりません。</p>
<p>市立図書館化に向けての課題や他市の事例として、北河内7市の図書館蔵書冊数との比較の表を掲載していますが、蔵書冊数だけでなく、図書サービスの良否の1つの重要な指標とされる貸出密度(1人あたりの貸出冊数)を明らかにしてください。 「図書館司書が新規図書資料の選定において質の高い資料を選択し、図書サービスの質や図書館の利用価値を高めていくことも一つの方策である」と記していますが、現行の図書フロアの収書方針や蔵書計画を指定管理者も市も明らかにしていません。それらを公開したうえで、課題整理が必要です。</p>	<p>今般の改修基本構想(案)については、主にハード面に係る部分として、どういった機能を持たせるかについてお示したものです。貸出密度につきましては、サービスに係るものであることから、今後、市立図書館の収書方針等を策定していく中で併せてお示ししてまいります。</p>
<p>≪ 該当箇所〔11頁の表-北河内7市の市立図書館との比較 ≫</p> <p>●「ムーブ21と各センターの図書フロアとの関係」について 表の注記(※2)の中で、「文化センターの図書フロア、各コミュニティセンターの図書フロアの蔵書を・・・」とありますが、図書館移行後においては、これらの図書室との関係は、どのようになるのでしょうか。もし図書館システムからこれらの図書室が除外されるのなら、図書館とどのような連携を考えておられるのか、市の考えをお聞かせください。</p>	<p>現段階におきましては、コミュニティセンターの図書についてシステムから除外することは考えておりません。</p>
<p>≪ 該当箇所〔11頁-2)市立図書館化に向けての課題や他市の事例〕の下から3行目 ≫</p> <p>● 新規図書資料の選定における「質の高い資料の選択」について 「質の高い資料」は、公共図書館においてはあまり馴染みがない文言だと思います。学校図書館においては、同協議会による選定図書や課題図書の資料が「質の高い資料」と言えるでしょう。「質の高い資料」とは、一般的には、各方面から一定の評価を得ている資料と思われる。しかし、公共図書館は、乳幼児から高齢者、視覚障がい者まで全ての人を対象としている施設です。当然、これらの人を対象とした資料を収集し、提供することが公共図書館の役割なのです。つまり大事なことは、あらゆる層の人が満足できる資料があるかどうかなのです。以上の理由により下記のとおり、文言を訂正されることを提言します。 「図書館司書が新規図書資料の選定において、質の高い資料を選択し・・・」を 「図書館司書が新規図書資料の選定において、市民の資料ニーズや蔵書構成を勘案し、市の収書方針・収書基準に基づき選択し・・・」に訂正</p>	<p>乳幼児等を含め、あらゆる層に満足いただける資料という意味合いで「質の高い資料」と表記しております。</p>
<p><b>II 改修にあたっての課題整理「5 前提条件をふまえた生涯学習情報センターのあり方」について</b></p>	
<p>・若者のニーズにも考慮した図書の配置や開館時間の検討は大いに進めてほしいと思います。</p>	<p>若者も含めすべての利用者の利便性が向上できるよう検討してまいります。</p>
<p>開館時間の検討は大いに進めてほしいと思います。</p>	
<p>p10の開館時間について、見直しの検討の必要性も考えられるとしているが、この問題は必ず人員の問題になるので、安易に断言するのではなく、勤務の割り振りの工夫等で対応できる範囲を精査すべきであろう。</p>	<p>リニューアルに伴い、市民の利便性の向上を図る中で、開館時間の延長についても検討してまいります。</p>
<p>開設時間ですが、利便性の向上より現在の閉館時間の延長を検討が必要と思われる。</p>	

意見の概要	本市の考え方
<p>・ダンスや音楽活動の場についても賛成ですが、他のコミュニティ等の施設でもできることという観点から、まず図書スペースをしっかりと確保した上で検討する、という優先順位でお願いしたいと思います。</p>	<p>市立図書館として必要なスペースを確保した上で、ダンスや音楽活動の場の設置について検討してまいります。</p>
<p>施設設備の更新とありますが、財源についてはどう考えておられますか？ 図書館法によると補助がありますが。</p>	<p>国の交付金等を財源のひとつとして考えております。</p>
<p>滞在型図書館として是非行きたいと思わせる心地よいスペースの構築（行きにくい場所であるにもかかわらず落ち着いて選書や読書をするスペースがとても貧弱です）</p>	<p>設計事業者からの提案をふまえ、快適な読書環境が提供できるような空間づくりを検討してまいります。</p>
<p>公共図書館の対象は、乳幼児から高齢者、障がい者を含む全ての市民を対象にしており、各層に応じた多種多様な資料の収集が求められています。資料の収集にあたっては、このことを充分踏まえて資料費の増額に努めていただきたい。</p>	<p>市民の資料ニーズや蔵書構成を勘案しながら蔵書の充実を図ってまいります。</p>
<p>魅力のある図書館の基本となるのは、書架に「新鮮で豊富な資料」が並んでいるかどうかであり、古い本が並んでは、市民は見向きもしない。当然予算には限界があるので、市民の資料ニーズと蔵書構成を勘案して、少しでも多くの新鮮な資料を市民に提供できるよう努めていただきたい。</p>	
<p>市立図書館への改修にあたり特に留意してほしいのは、思想的偏りのない図書の収集と新刊の新書の充実（今は誰がこんな本（高価）を読むのか？というのが多いと思います。見栄のため？）</p>	
<p>資料の増加を求めます。古い資料は破棄し、使える資料を1人当たり2冊揃えると資料も充実するであろう。使用不能な資料も含め、数合わせしては、魅力的な図書館にはならない。コミュニティセンターの資料を全て図書館に集めてほしい。今迄市民サービスで公民館に書架があったと思うが、今は図書サービスが充実している為、スマホで予約できる。借りるのも返すのもできるコミュニティセンターは充分サービスを満たしている。急に1ヶ所に資料を集めるのが困難な場合は拠点の3ヶ所にも置けば良い。その際は各コミュニティ拠点施設に司書を置いてもらいたい。今迄司書不在の為、本の扱い方を知らない職員が本を扱っていた。例えば、手が濡れたまま本を次々触る、予約が入ると本を探さないといけなくて憂鬱だと不満を言う。絵本も絵にかがせるように公民館の印が押されていたり、最終ページと裏表紙がくっつけられたり。中央コミの廃棄の時も職員が本の移動に数ヶ月を要し、美しい本を廃棄していた。人を集めるためにイベントも必要だが、最も必要なのは魅力的な資料を揃えることである。それには司書の質の向上も必要であろう。</p>	<p>市立図書館化に伴い資料の充実にも努めてまいります。スペース的な問題等もあり、コミュニティセンターの資料を図書館に集約することはできません。今後、市立図書館の指定管理者に対しても質の向上を図るため、研修体制の充実について検討してまいります。</p>
<p>「司書の充実」を仕様書の第一項目に掲げてください。 司書のリーダーとして有能な人を必ず配置し、研修体制を構築してください。</p>	<p>指定管理者の募集の際に、仕様書に司書の配置を求めてまいります。</p>
<p>「司書の充実」を望む声は市民の方々からも多く聞かれます。不可欠です。</p>	
<p>司書の仕事内容の見直しを行ってください。（調べ学習の指導やレファレンスサービスがしっかり行えるようにしてください。）そしてそれに応じて必要な人数を配置してください。</p>	
<p>カウンターにいる方は、全員司書資格を保有されているのでしょうか。レファレンスの質が人によって違います。とんでもない絵本を紹介されたことがあります。全員司書さんだとすると、司書の質も他市より劣ります。資料を探している時に的確に教えていただけると「図書館へ行こう」に繋がります。私達のグループは、ムーブよりも他市の図書館で絵本をよく借ります。それは、資料の多さ、資料の質、司書さんの的確なレファレンスがあるからです。決してムーブより広くない他市の図書館でもこれらが揃っている、利用者が多いのだと思います。</p>	<p>現在ムーブ21の図書フロアには司書資格保有者を配置しておりますが、研修体制の充実等資質の向上を図る提案を指定管理者に求めてまいります。</p>

意見の概要	本市の考え方
資料の増加は勿論の事、新刊の資料も沢山入れていただきたいです。子供たちがとても好きな本を買っていただくよう司書さんをお願い致しましたが、「置く場所がないから。」と、断られました。何卒、無駄なエリアを書架に変えていただくようお願いいたします。	施設のリニューアルにより書架を増やしてまいります。
図書購入費は可能な限りしっかり確保して、毎年の予算に計上してください。	図書の除籍を適切に行うとともに、新刊図書の購入も進めてまいります。
図書館にとって蔵書の充実が重要ですが、資料は活用されてこそそのもの。市民の学びやより良く生きるために利活用されてこそ意義があると考えます。蔵書の充実だけで利用に結びつくわけではありませんので、利用拡大の方策や目標も必要ではないでしょうか。そして、そのためには専門性の高い職員の長期的・計画的な育成も不可欠です。それらの運営のあり方をふまえた改修計画であるべきと考えます。	指定管理者に司書資格保有者の配置及び資質の向上を図るため、研修体制等の充実を求めてまいります。
図書館の中核機能であるリファレンス機能とリクエスト機能をどう充実させる具体的方向性がよくわかりません。	リファレンス機能につきましては、図書サービスの核となる重要なものであり、今回の計画を進める中で具体的な方向性を示してまいりたいと考えております。
「利用しやすいリファレンス室」の設置。	
リファレンスサービスの充実(特にビジネス関係)	
「起業支援・ビジネス支援サービス」の実施ができるようビジネス書コーナーの充実。	
「守口の特徴を生かしたコーナー(江戸川乱歩コーナー、漫画コーナーなど)」の設置も検討すべきと考えます。	蔵書の充実はもとより、様々なコーナーの設置等提案を指定管理者に求めてまいります。
既存のコミュニティセンターの連携も含め、図書機能の充実を図って頂きたい。	市立図書館として、充実を図ってまいります。
<b>その他</b>	
これからの時代は、移動図書館もいいと思う。独居老人や、遠くて図書館に行けない人たちにとって、移動図書館は出会いや集いの場になる。本を借りるだけでなく、集まってきた人同士いろいろな会話をすることで知識が増え、健康寿命をのばすことにもつながると思う。	移動図書館の運用は予定しておりませんが、守口文化センター、地区コミュニティセンター図書室と連携し、ムーブ21への来館が難しい方に対しても図書サービスを提供してまいります。
小学校等への移動図書は継続してほしいです。	小学校等への団体貸出については今後も継続予定です。
ムーブは現状のまま有効活用をはかってほしいが、改修工事をするというときには、閉鎖することなく市民が利用できる状態で工事をすすめてほしい。	築25年が経過しており、空調設備等についても全面的に改修が必要があることから、一定期間の休館はやむを得ないと考えています。ご理解のほどお願いいたします。
生涯学習情報センターは図書館としては利用しにくい場所にあり、たとえばばらしい蔵書をおいても宝のもちぐされになるのでは。	現在の生涯学習情報センターをリニューアル改修を行い、市立図書館として図書サービスの充実を図ってまいります。
ムーブ21に図書館が必要でしょうか。図書室でよいのでは？作るなら町の中心になる文化センターが良いのでは。	
中部エリアコミュニティセンターで本の貸出しがないし、西部コミュニティセンターを利用していますが蔵書が少なく満足できません。家の近くに図書館が欲しいです。	今回、生涯学習情報センターを法律上の図書館を備えた施設にリニューアルし、図書サービスの拡充として蔵書の拡大も図ってまいりますので、ご利用いただきたいと考えております。

意見の概要	本市の考え方
<p>組織の充実を図るとありますが、方向性がわかりませんが？</p> <p>守口市も図書館法に基づく図書館に変貌する事に大きな関心を持っています。図書館法は教育基本法の「教育の目的」の精神に則り構築されています。教育に関しては現在の市民生活部生涯学習・スポーツ振興課が担当するより、教育委員会が担当する方が適切であると考えます。大阪市門真市始め府下で大半の都市は教育委員会所轄で且つ直営となっています。私は①指定管理者制度から直営で ②市長部局から教育委員会へ所轄の変更を希望いたします。</p>	<p>図書館は教育委員会の所管となりますが、担当は、教育委員会の権限に属する事務の補助執行により生涯学習・スポーツ振興課です。また、施設の運営につきましては、これまでどおり指定管理者により実施するものと考えております。</p>
<p>法律上の図書館設置と現行図書室間でのメリット、デメリットに大きな差があるとの認識がなかったことから、現在まで「都市機能の最たる治績資産である図書館のない都市」と称されながら運営されていたのは、市の方針ではなかったのでしょうか。よって、「法律上の図書館」が、現行「図書室」より財政問題・本市図書館での学芸的機能の必要性をはじめとする総合的評価で大きく上回るのであれば、他の都市との体面上の図書館があってもいいかなとは考えます。</p> <p>ただ、守口市が他の都市に誇ることができていた地区公民館が、首長部門に移行し住民利用施設の疎遠化が進められている現行施策との関係からかんがえますと、「各エリアコミセン」での図書貸出事業が廃止されている現状の変更として、児童書、辞書等知的参考書類図書は、各施設での貸し出し・閲覧を可能とし、一般図書は情報センター一括管理として、貸出事業は現行どおり、各コミセンへの配送方式でいいのではないのでしょうか。これによって、情報センター(図書業務)の存在を住民にも認知されるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ、AV視聴コーナーは利用したことがないので何とも言えません。</p>	<p>現在、各コミュニティセンターと連携した図書サービスについては引き続き実施し、市立図書館として、蔵書数の拡充をはじめ図書サービスを充実してまいりたいと考えております。</p>
<p>大阪府下最後の図書館になるとのことで他市に恥ずかしくない、もっと言えば、「遅ればせながら守口市にはこんなすばらしい図書館ができた」と誇れるような図書館にしていきたい。</p> <p>いい図書館になるかは、当初の計画もさることながら、市民と協力して運用を随時改善していくことが不可欠と思います。そのような仕組みづくりも必ずビルトインして下さい。</p>	<p>現代のニーズにあった快適にご利用いただける図書館になるよう検討してまいります。</p>
<p>友の会(仮)の設置について 守口市生涯学習情報センターの運営方針に市民が関わることができるよう、「友の会(仮)」の設置を提案します。センターの職員の方々と一般市民が一緒になって、リニューアルされるセンターを盛り上げていきましょう。</p>	<p>生涯学習情報センターについては、指定管理者により管理運営されており、施設の設置目的等を踏まえ、指定管理者が運営方針を定めております。</p>